

4回目の緊急事態宣言下なのに…

ワクチン不足で予約出来ない?!

新宿区では6月中から「ワクチン接種の予約が取れない!」という苦情が寄せられていました。当初の予定は、①7/1～基礎疾患のある方②7/7～20・30代の方③7/20～40・50代の方④7/26～16から19歳の方、の順で集団接種の予約を受け付ける予定が、初日の午前中で枠が埋まっています。7/13現在で1回接種が終わった65歳以上区民は約5万4千人。1回目を接種した方は2回目も出来るよう区は対応するとしています。今後の新宿区へのワクチン供給予定は8月中旬～末日で2万8千人分ですが、それらを合わせても接種対象区民3万2千人の3割余にしかありません。

日本共産党区議団は、希望者が速やかに接種できるようワクチン確保に努めることと、感染封じ込めのため大規模PCR検査の実施を求めました。

▼ワクチン接種やオリンピック・パラリンピックの学校連携観戦などについてのご意見やご要望をお寄せください!

えっ?! 子どもたちをパラリンピックに動員?

オリンピックの学校連携観戦は東京都が中止を決めましたが、パラリンピックは中止になっておらず、新宿区と区教育委員会は小中学生と幼稚園・保育園・子ども園の年長児童をパラリンピックの観戦に連れて行こうとしています。

緊急事態宣言が8月22日まで発出されているもとで五輪・パラリンピックは中止こそすれ子どもを動員するなどんでもないことです。日本共産党区議団は、区長と区教委に子どもの動員は中止するよう申し入れを行いました。



本会議で代表質問する
雨宮武彦議員

問 面的なPCR検査・戦略的検査強化を、歌舞伎町などの繁華街や飲食店で実施すべき。
答 国や都にもモニタリング検査の実施場所を情報提供

●新型コロナウイルス封じ込めを!
問 ワクチン接種の予約電話を有料のナビダイヤルからフリーダイヤルに切り替えるべき。
答 03番号の回線を開設。現時点でフリーダイヤルへの切り替えは考えていない。
問 ワクチンは障害者施設や特別支援学校でも優先的に接種すべき。保育園・子ども園、幼稚園、小中学校等で働く人にも早急に接種を。
答 障害の特性に配慮した接種が求められており、関係機関と接種方法を具体的に検討している(※その後実現)。保育園等の従事者については、国が進める職域接種等の枠組みを活用するなどして促進する。

●若者・学生に支援を!
問 コロナ禍で苦境にある若者・学生に、「若者応援給付金」など経済的支援、食料支援を。
答 区独自に若者・学生に特化した経済的支援を実施する考えはない。区独自の食料支援は考えていないが、都の食料マッチングシステム(防災備蓄食品をフードバンクが調達できるシステム)を活用し、アルファ化米等の提供を検討している。

●資産価値が低下する?!
問 重要土地等調査法案(土地取引規制法案)について。新宿区では防衛省の周囲約1キロが影響を受ける。区民の思想信条の自由を侵す危険や資産価値の低下の可能性等が指摘される。法案の廃案を求めるべき。
答 廃案を求める考えはないが、経済活動、個人情報保護等に配慮の上運用されるべき。

第2回定例会で日本共産党区議団の代表質問は、雨宮武彦議員が以下の項目で行いました。

質問項目

- 1、区長の政治姿勢について
 - 2、新型コロナウイルス封じ込めのための対策について
 - 3、若者・学生への支援について
 - 4、気候変動とCO2の削減について
 - 5、行政のデジタル化問題について
 - 6、高齢者いこいの家清風園について
- (*6/24区議団ニュース速報で既報)

保育園に関する区民の陳情続々

今定例会には、保育園に関する陳情が多数寄せられました。「第二子以降育児休業取得中の在園児保育可能期間延長に関する陳情」「育児休業取得中の在園児保育可能期間延長に関する陳情」「新宿区の保育認定要件に関する陳情」と、育児休業中に在園する上の子の退園が迫られたというもので、3月23日東京新聞でも特集されました。新宿区の育児休業に関する規定が厳しく、他区では在園継続できるケースが新宿区では「保育の必要性がない」と見なされ退園を迫られています。陳情を審査した文教・子ども家

庭委員会では、日本共産党の高月まな委員が早急な制度改善を求め、陳情の採択を求めたのに対し、与党の委員は保育課長に事実経過を確認し柔軟な窓口対応を求めるに留まりました。いずれの陳情も、意見の一致が見られないとして、審査未了(今後議論しない)となりました。

傍聴に来た陳情者の方からは、「陳情がなぜ採択されなかったのか分からない」と落胆の声が聞かれました。日本共産党区議団は、制度を改善するため、引き続き取り組みます。

